



地域がん診療連携拠点病院・基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院・地域医療支援病院・災害拠点病院・熊本DMAT指定病院・救急指定病院

## 理念 140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します

### 基本方針

#### 患者中心の医療

患者の人権と意思を尊重します

#### 診療3本柱

がん・救急・予防医療を中心に医療機能の充実を図ります

#### 完結型医療

地域の医療機関と連携し安心できる医療の展開を行います

#### 地域包括ケア

地域包括ケアシステムを推進し地域のまちづくりに貢献します

#### 社会貢献

災害医療派遣・医療情報公開・医療ボランティアの活動を行います

#### 医療人育成

地域医療に貢献できる医療人の育成を行います

## 一次救命処置の質向上を目指して



2022年7月16日に院内で開催されたBLSプロバイダー研修に参加させていただきました。

BLSとは心肺停止または呼吸低下に対する一次救命処置の事を言います。研修に参加する前は「自分ができる」という自信をもっていましたが、研修に参加した事で不足している事が多々あったと思ひ知る事ができました。

研修ではマネキンを用いた実践形式のトレーニングを中心に、インストラクターが一つ一つ詳しく説明・指導してくださりととても解りやすい研修となりました。

研修の中でとても印象に残った言葉がありました。それは「救命の連鎖」という言葉です。「救命の連鎖」という言葉は、救急心血管治療システムの概念の各要素を「鎖」と例えており、この鎖が壊れると良好な転帰が得られる可能性が低下するとされています。すなわち、救命の場面においては他者との連携がとても重要であり、この連携が崩れる事で救命率が低下するという事です。その為、救命の場面では他者と連携を



図り、迅速かつ適切な救命処置を実施していく事が重要であると、研修を通して学び得る事ができました。

今研修で学び得た事を活かし、質の高い医療が提供できるように日々研鑽していきたいと思ひます。

HCU 看護師 有菌 卓也

## 地域の救急医療を支える研修会を開催しています

### ファーストエイド

～インストラクターコース・実技コース開催～

7月23・24日にファーストエイドのインストラクターコース、実技コースを開催しました。

このコースは、救急・急変時に、専門的な救急処置が開始されるまでの間、看護職として緊急・応急処置ができる人材を育成するコースです。今回、3年ぶりの数少ない対面研修の開催と言うことで、院内外からの参加があり手指消毒や換気などの感染対策をしっかりと行い、研修を実施しました。

実技コースは13人の参加。最初はどのように良いのか分からなかった受講生も、回数を重ねるうちに少しずつ積極的に対処できるようになり、「楽しく受講できた」「受講して良かった」という声も聞かれました。このコースは実技が多いので、楽しく学べると思います。

今後も継続してファーストエイドコースを開催することで、救急医療の質向上につながると考えています。興味がある方は次回開催の際、受講してみてください。

6階病棟 三倉 範子

今回ファーストエイド実技院外イベントに対応コースを受講させていただきました。

当院ではBLS (AHA)、INARSを受講資格とする研修となりますが、インストラクターの指導のもと、主に院外設定でのシナリオステーションを進めていく中で、上記研修で学んだABCDへの体系的アプローチを活かしながら更に二次評価・応急処置を楽しく学ぶことができました。

また、院外イベント対応コースということで十分な感染対策をとりながら、他施設スタッフとの交流、シナリオ内での意見交換など刺激の多い1日となりました。

7階病棟 岡原 尚己



【インストラクターコース】



【実技コース】

2017年に当院で初めて開催されたファーストエイドのプロバイダーコースを受講し、インストラクター資格を取得しました。このコースは、初期対応がわかりやすく楽しく理解できるコースのため、院内のファーストエイドナースは増えました。

取得したメンバー達を軸にマラソン大会の救護ボランティア活動を始めました。この2年間は、水害やコロナ禍でマラソン大会やプロバイダーコースが開催されなくなる状況があります。

院内外問わず、日常に起こる急性症状に初期対応できる看護師を育成するコースであるファーストエイドは水害やコロナ禍をはじめ、どんな時にも看護師の大切な役割を果たせます。今回インストラクターを取得する事ができましたので、これから自施設だけでなく地域にもファーストエイドナースを増やしていければと思っております。

5階西病棟 愛甲 宣代

## アイナース(愛ナース)新人研修を行いました

7月8日と7月22日に新人研修プログラムのフィジカルアセスメント、心停止を回避する目的で行うシミュレーション研修を行いました。研修講師は、当院に所属するINRAS (アイナース) コースのインストラクター6名で行いました。

INRAS (アイナース) とは、心停止を回避するための患者の見方と対応、チームで行う意義、必要なタイミングでの報告について、体系的アプローチ (PDCA サイクル) を学ぶコースです。

講師が患者役となり、新人看護師が患者役を実際に観察し評価、認識、行動を口述しながらすすんでいきます。患者役の講師はリアルに、観察する新人看護師もリアルな患者役に戸惑い、時には笑いも起こりながら、新人の仲間とディスカッションして、フィジカルアセスメントを実践、評価し、看護師が行う行動も実施し、研修を終えました。

コロナ渦もあり、人数を少なくし、感染対策しながら行いました。感染対策は通常の看護をする状態と同じですので、よりリアルに学べたと思います。



新人研修のプログラムになり、3年目となりました。講師側となるINRASインストラクターのメンバーで提示症例を検討し、フィジカルアセスメント研修がより実践に近い状



態、わかりやすく、楽しさも含まれるように研修を企画・運営しています。INRASインストラクターは、8名います。研修だけでなく、外来や病棟の現場で新人看護師と共に普段の看護力を高められるように協同していきたいと思

INRASインストラクター 愛甲 宣代

ABCDの評価、行動はもちろん、検温時に数値だけみるのではなく、第一印象から見て常に普段との変わりがないか観察することの大切さがわかりました。状態悪化につながる前の看護の視点が学べたため、今後も継続して行動につなげられるよう頑張っていきたいと思

9階病棟 緒方 愛子

実際に重症の患者さんを受け持った時、どこから観察すればよいのかすらわかりませんでした。研修を受けて、何をどのように観察すればいいかを明確に理解することができました。自分が感じた第一印象を大切に、ABCD評価に基づいてアセスメントできるようにしたいと思います。

9階病棟 松下 和加奈

## 人吉医療センター呼吸器内科です！

当科は今年より体制が大きく変わり、熊本大学より2名が派遣され常勤2名で診療にあたっております。また、熊本大学より週1回、熊本済生会病院より週1回非常勤医師による外来診療を行っております。当科としては、熊本市内まで1時間以上かかるこの病院でも、熊本市内と同じ診療ができることを目標としております。実際に肺癌においては、熊本県内でも症例数が多い病院であり、年間100例程度の新規肺癌症例の診療にあたっております。肺癌診療における当院の特徴としては、診断から治療まで当院のみで完結できることです。診断に必要な気管支鏡検査、病理検査も院内で実査できます。また、県内でも有数ではありますがPET検査も完備しております。手術、放射線治療、化学療法もすべて当院で実施できます。難しい手術症例や定位放射線治療など一部の治療に関しては、ご希望や必要に応じて他の医療機関と連携を取りながら診療にあたっております。

最近力を入れている点として、新規の治療薬も積極的に

導入しております。間質性肺炎に対する抗線維化薬や気管支喘息に対する生物学的製剤など、今までは治療法が限られていた疾患でも治療の進歩により、症状の改善を目指せるようになりました。それらの治療も積極的に導入しております。また、高齢化に伴いCOPDや慢性呼吸不全の患者様も増加しております。COPDに対する吸入薬の調整や慢性呼吸不全による在宅酸素療法も積極的に導入しております。在宅酸素療法を導入することで、今までと同じ生活の質を維持できることを目標としております。

引き続き地域の皆様のお役に立てるように診療にあたっておりますので、何かご不明な点やお困りの点がございましたら、いつでもご相談いただければ幸いです。今後ともよろしくお願いいたします。



呼吸器内科 垣内 洋祐

### 産婦人科

## 片淵先生 思春期後援会開催 in 人吉高等学校

2022年7月6日（水）人吉高等学校にて片淵秀隆先生による講演会が開催されました。

### 13年ぶりの人吉高校での講演となりました

先生は当院婦人科外来に月3回診療に来ていただいておりますが、先生の講演をぜひ聞きたいと人吉高校から依頼があり、実現しました。先生は県内の数多くの学校で講演に回られており、人吉高校は13年ぶり2度目の講演とのことでした。

講演を聞いた生徒さんから沢山の感想をいただきましたので、一部ご紹介させていただきます。

### -3年生男子-

今日の講演で初めて知ったことは、子宮の大きさはニワトリの卵ぐらいということ、子宮頸がんはHPVに感染因子、その人の体調によって免疫で排除しきれずに感染し続けることによって起こること、女性だけではなく残性にも原因があるということ、ワクチンで予防できるということです。また、1日に10人は子宮頸がんで亡くなっているということには驚きました。私の母も子宮頸がんにかかり子宮をとっているのに身近に感じていましたが、ワクチンがあることは知らなかったの、今回知ることができてよかったです。私たちは未来に責任があること、性は生へそして世へという3つの「せい」を忘れないようにしたいです。

### 性に対する正しい理解を！

講演では、産婦人科とはどういうところか、婦人科疾患、妊娠、出産、無事に生まれてくる奇跡（命の大切さ）や性に対しての正しい理解など、とても分かりやすくお話いただき、あっという間の50分でした。



## イロイロあります！HMC 出前講座！！

当院では、地域の保健福祉医療機関や学校、一般企業などに出向き、感染対策や保健予防教育、AED講習など医療機関として地域に貢献できるように医療の現場で培われた知識とノウハウを普及するための活動を行っております。

こんな研修会を開いてほしいというご要望がございましたら、是非ご一報ください。

人吉医療センター 医療福祉連携室  
0966-22-2191（内線 240）

医療福祉連携室 宮原 由佳

名称	内容	講師	所要時間（目安）
天使のちえぶくる	小児レクチャー（子どもの病気に対する処置の方法等） ・発熱、痙攣（15分） ・嘔吐下痢（10分） ・インフルエンザ（10分） ・水の事故 心肺蘇生法（60分） ・手洗い実技（15分） ・RSウイルス（10分）	医師、看護師	1時間～1時間半
命のエレキテル	心肺蘇生法、AED講習	医師、看護師	1時間～1時間半
性教育	性感染症等について	産婦人科医師	1時間～1時間半
看取り研修会	エンゼルケア（講演） エンゼルメイク（実技）	緩和ケア認定看護師	1時間～1時間半
その他 （1時間～1時間半）	・禁煙、薬物乱用防止、飲酒について ・骨粗鬆症の予防のための食生活（骨を丈夫にする食事とは？） ・食欲低下時の食事の工夫（がん治療中、ターミナル期） ・生活習慣病の予防・改善の食事 ・がん予防のための食生活	・健診について ・認知症について ・感染症について ・褥瘡処置について ・疼痛について	

## あなたの在宅生活支えます！ 密着！HMC訪問看護ステーション

1996年のがん患者の在宅療養支援を目的に訪問看護室として訪問看護をスタート、2018年からは訪問看護ステーションとして、血圧や脈、熱などのバイタル確認や疼痛コントロール、人工肛門などのストーマケア、薬剤管理など利用者の状態に応じた看護ケアを提供し、多くの利用者の在宅療養を支援しています。

### 訪問看護ステーションの一日のスケジュール

8:30-	<b>ミーティング</b> スタッフで利用者の情報の共有と本日のスケジュールを確認します
9:00-	<b>利用者のご自宅へ出発</b> 🚗 遠くは20キロあまり離れたご自宅もあります。📍
12:00-	<b>お楽しみの食事タイム</b> 🍴 黙食なのが残念 😞
13:00-	<b>午後の訪問</b> カンファレンスなど最近ではリモートでのカンファレンスもおこなっています 📺
16:00-	<b>帰院</b> カルテ記載や主治医やケアマネジャーへ状況報告をおこないます



**機材のチェック**  
次々に新しい機材が出るので、アップデートは大切です



**カンファレンス風景**  
最近ではリモートでのカンファレンスも行っています



**訪問記録の記載**  
訪問看護や長距離運転で疲れた身体に鞭打ってカルテ記事を記載します

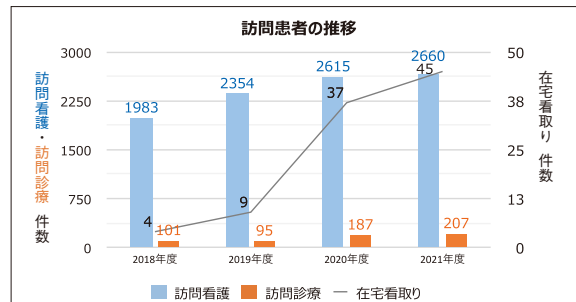
病院に併設する訪問看護ステーションであるため、がんの終末期や、医療依存度の高い利用者を多く支援しているのが当訪問看護ステーションの特徴です。

緊急時の夜間の呼出や、盆正月もなく訪問をしています。

大変なこともあります、利用者が住み慣れた地域で療養できるようこれからもサポートして参ります。

訪問看護利用料金 (医療保険)	料金	ご利用者様負担額			
		1割負担	2割負担	3割負担	
訪問看護 基本料金I (1日につき)	週3日目 まで	5,500円	555円	1,110円	1,665円
	週4日目 以降	6,550円	655円	1,310円	1,965円

\*交通費や、利用者の状態に応じた加算が別途かかります。



コロナ禍での面会制限の影響が在宅での看取りを希望する方が増加しています。

昨年度、在宅で看取られた方は45名おられました。

在宅で看取りにならなくても、できるだけ長い期間QOLを保ちながらご自宅で生活いただけるよう、サポートしています。

### 【訪問看護のお問い合わせ】

T E L 0966-22-2191  
(平日：8:30-17:00)

訪問看護ステーション 師長 藤村 友子

## 2022年度 高校生1日看護体験

7月29日、3年ぶりに「高校生1日看護体験」を開催、人吉・八代地区の高校生14名を受け入れました。熊本県看護協会主催の本取り組みは、若い世代に「看護」の魅力を伝え、多くの人に「看護」を志してもらうことが目的です。COVID-19感染拡大により、多くの施設が受け入れ中止となる中、当院は体験内容を企画変更して臨みました。本来であれば、直接患者さんに触れ、看護の喜びを体験してもらうところ、感染対策の観点から、感染防護具の着脱訓練、血糖値測定、人体モデルを用いた救命処置等の看護体験や、リハビリテーション科技師長の協力の下、車椅子の移送介助や松葉杖での歩行体験などを実施しました。

ピンクのユニフォームを着用すると、一見、新人ナースのようですが、「キャーキャー」

盛り上がる姿から、高校生らしい一面が見えました。また、参加者同士で写真撮影や連絡先を交換するなど、ネットワーク作りも活発に行われていました。



参加者の感想として「看護師の仕事を学ぶことができよかった。」「患者さんの疑似体験ができた。」「貴重な体験の時間となった。」「やはり、看護師になりたい！」等がありました。

今回の体験が、今後、看護職を目指すきっかけとなれば幸いです。

副看護部長 井上 久美

# もっと知ってほしいACPとPOLST

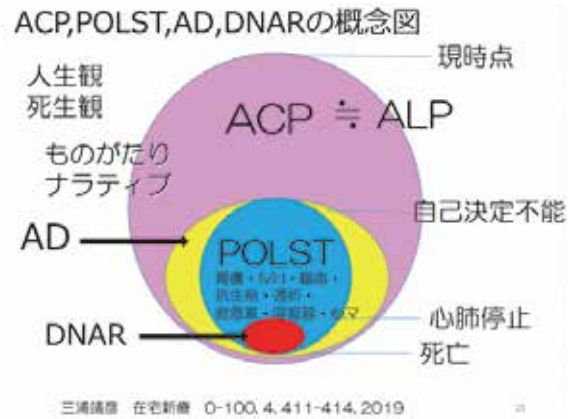
## ACPとPOLST

皆さんは、「ACP」という言葉をご存知でしょうか？「ACP」は、「アドバンス・ケア・プランニング」の略で、「人生会議」ともいわれ、将来の変化に備え、将来の医療及びケアについて患者さんを主体にそのご家族や近しい人、医療及びケアチームが、繰り返し話し合いを行い、患者さんの意志決定を支援するプロセスのことです。希望に沿った、将来の医療及びケアを具体化することを目標にしています。

一方でPOLSTとは、「生命を脅かす疾患」に直面している患者の医療処置（蘇生処置を含む）に関する医師による指示のことを言います。POLST（DNAR指示を含む）を作成するためには、倫理的に適切な作成プロセスを踏む必要があります。POLST（DNAR指示を含む）の注意点としては、CPR以外の他の治療に対しても消極的になり、生命維持治療も制限されてしまい実質的な延命治療の差し控え・中止となっている場合があるため、他の医療処置の内容についても具体的に十分に考慮する必要があります。

本院でもPOLSTの導入を進めているところです。完成した折には、地域の医療機関や介護施設などとも共有し活用できるように体制を整えていきたいと思えます。

医療福祉連携室 杉松 紗織



東京慈恵会医科大学附属柏病院総合診療部診療部長三浦 靖彦先生  
「患者自身の意思決定能力の評価 患者意思の表明」より

## 患者の意思を尊重していくために ～熊本県がん専門員研修会を受講して

今回、7月23日(土)、2022年度 第1回 熊本県がん専門相談員研修会で「ACPについて改めて考えてみよう～患者の意向を尊重していくために相談員としてできること～」をテーマに、熊本大学病院 がん看護専門看護師 安達美樹 先生より、ご講義いただき、Webで受講しました。

本院では、かねてから患者さんがどのような医療や医療的ケアを望んでいるか、受診や面会の機会などを活用し、ご本人のお話やお気持ちを伺う場面を大切にしてきました。

しかし、予期せぬ病気や突然の事故などでは、ご家族やパートナーなど、周りの方々に医療的処置の選択や判断が委ねられる場面があり、また、超高齢化社会に伴い、それさえも困難な状況に出会う場面も少なくありません。

特に本院では、救急搬送にて運ばれる患者さんも

多く、ご本人やご家族の意向が確認できないまま、救命や医療的処置が施される場合もあります。果たして、患者さんは本当に救命や医療的処置を望んでいたのか、かえって苦しい体験となったのではないのか、そのような葛藤が患者さんやご家族、医療者に生じる場合があります。

“私らしく生きるための話し合い”、つまり、「ACP」が早い段階で、前もってなされていたならば…そのような思いを形にしていくための研修となりました。

具体的には、言葉や表情・態度などの端々から、患者さんの人となりやご家族の思いを拾っていくこと、その際に多職種の視点を活用する、“パズルのピースを合わせる”ことで、より立体的な支援に繋げられることを学びました。本研修での学びを、支援の充実に繋げていきたいと思えます。

医療福祉連携室 鶴田 真奈美

本院のホームページよりACPシートのダウンロードができます。是非、ご利用ください。

人吉医療センター ACP

検索



## 特別臨床実習

### 患者さんに信頼される医師をめざして

私は3週間、クリクラの地域医療実習でお世話になりました。クリクラ第1ターム目ということで少し緊張していたことを覚えています。しかし皆さん温かく迎え入れてくださり、3週間で終えた今は、人吉が大好きになりました。

主に総合診療科にお世話になり、病棟患者さんを振り分けていただきました。今まで実習をしてもどこか他人事だった患者さんの様子が、カルテを書いたり回診をしたりすることでどんどん興味が湧いてきました。その中で先生方と患者さんの距離感の近さには、さまざまなコミュニケーションの工夫があることも知りました。本当の意味で「患者さんに信頼される」医師になりたいと思いました。

また、五木村診療所での外来では、高齢化が進む地域の医療を学びました。診療所が1つしかない地

域では、そこでの診察や薬の処方が大きく生活に関わっていくことを目の当たりにしました。診療所で診察される先生は交代していくと思いますが、どの先生であっても責任感を持ってしっかり引き継ぐことが必要だともわかりました。

訪問看護・診療も見学させていただき、最期を迎える患者さんに対して医師のできることにについて考えさせられました。そのほか手技や講義もしてくださり、大変充実した実習内容でした。

実習以外にも研修医のみなさんをはじめ、本当によく気にかけてくださり、心から楽しんで実習することができました。美味しいご飯や温泉ももう恋しいです。3週間ほんとうにありがとうございました。



熊本大学医学部医学科 5年 姫野 実乃里

## 選定療養費

### ◆ 紹介状なしで受診される患者さんの負担金について

令和4年の診療報酬改定により、現在許可病床200床以上の地域医療支援病院では他の医療機関からの紹介状なしに受診される患者さんからいただいている選定療養費を、初診時7,000円以上、再診時3,000円以上に増額しなければならないこととされました。当院は許可病床252床の地域医療支援病院で、これに該当します。

『選定療養費』とは、病院と診療所の機能分担の推進を図るため、国が定めた制度です。この制度に基づき以下のとおり徴収させていただきますので、ご理解をお願いいたします。

	現行	令和4年10月1日～変更後
初診時 選定療養費	5,500円(税込)	7,000円(税込)
再診時 選定療養費	2,750円(税込)	3,000円(税込)

※医科・歯科同額

#### 【初診時選定療養費】

初診の際、他の医療機関等からの紹介によらず受診された場合に徴収いたします。但し、緊急その他のやむを得ない事情の場合はこの限りではありません。

#### 【再診時選定療養費】

担当医師が他の医療機関へ紹介を行う旨の申し出を行なったにもかかわらず、引き続き当院での受診を希望される患者さんについては通常の医療費とは別に、受診の都度徴収いたします。

#### ■緊急、その他のやむを得ない事情とは？

- ・救急車で来院し、救急外来を受診された場合
- ・公費負担医療制度を利用している場合
- ・通院中に当院医師の指示で新たな診療科を受診する場合
- ・2次健診の場合（当院宛でない場合も含む）

人吉医療センター 予約センター

## 新 任 紹 介



本田 なつき（9階病棟・看護師）

趣味：旅行  
生活信条：毎日を何となく楽しく過ごす  
自分の性格：楽観的、涙もろい

自分のコマーシャル：学ぶ姿勢を忘れることなく、努力していきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。



木脇 領太（臨床研修医/済生会熊本病院）

趣味：硬式テニス  
モットー：なんくるないさ  
自分の性格：のんびりしてます

自分のコマーシャル：1ヵ月間お世話になります。色々わからないことだらけですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

